

たぶの木と さっこう池と 子どもたちと



長浜市立速水小学校 No.9 令和4年1月12日

「あけましておめでとございます」 令和4年がスタートしました！

令和4年もどうぞよろしくお願いいたします。3学期は1月7日（金）に始まりました。年末からの大雪で、道にはいっぱい雪が残っていましたが、子どもたちは元気に登校してくれました。

さて、始業式では3学期の速水小学校の目標について話しました。3学期は、速水小の合言葉の中から「はやみのや」で、「やさしいところ」を目標としています。また、卒業式や6年生を送る会など、心の交流が深まる大切な行事があるので、学年を超え、学校全体で「友情」を深めていきたいと話しました。そのためにも、人として大切な「やさしいところ」の育成に力を入れていきたいです。（やさしく温かい標語を考えてくれた友だちがいたので、紹介しました。①は5年生の大谷さん、②は4年生の関谷さんの標語です。）

やさしいところ

① 負けないよ
マスクの中は
えがおだよ

やさしいところ

② やさしさは
みんなもってる
だからもの

しっかり学んだ 6年生の修学旅行

延期が続いた6年生の修学旅行も、12月2・3日に実施でき、奈良方面に行ってきました。奈良は快晴で、

12月とは思えない気持ちの良い旅行となりました。1日目は、世界最古の木造建築である法隆寺、平城宮跡や、日本一大きな大仏のある東大寺を見学しました。春日大社まで班別学習をし、鹿とも触れ合うことができました。コロナ禍で、おなかをすかした鹿たちが群れをなして押し寄せてくることもありましたが、にぎやかで楽しい時間が持てました。2日目は、朝食後、興福寺や猿沢の池を散策し、旅館の皆さんにお礼を言って、唐招提寺に行きました。唐招提寺では鑑真和上の来日された経緯に大変感動しました。その後、飛鳥資料館で「飛鳥」の歴史や文化についてしっかり勉強し、続く飛鳥寺では、ご住職さんに日本最古の仏像についてなどのお話を聞くことができました。午後は石舞台古墳や高松塚壁画館、高松塚古墳を見学して帰ってきました。古都奈良の文化や歴史を深く学ぶことができました。最後まで、子どもたちは懸命にメモをとって学んでおり、また、ルールや時間もしっかりと守って行動できていて、とても充実した修学旅行となりました。



人権週間に考えました

～みんながしあわせになれるように～

12月に人権週間があり、各クラスで学び考えたことを、代表の児童が放送で発表してくれました。優しく温かいメッセージに、とても感動しました。6年生はクラスの人権宣言にも取り組みました。

◆1年生の作文より

★みそざいさんは、ひとりぼっちのやまがらさんのおうちにいて、やさしいと思いました。誰にでも、こんなふうにできるといいです。わたしも、けがをしたとき、友だちが心配して、声をかけてくれて、とってもうれしかったです。

★お友達に、折り紙の仕方を教えてあげました。やさしくすると、いい気持ちになりました。これから、友だちにやさしくして、ずっと友だちでいられるようにしたいです。

◆2年生の作文より

わたしは、「わたしのいもうと」という話を読んで、人をたたいたり、人を傷つけたりしたら、やっているほうは楽しいかもしれないけれど、いじめられている方はかなしいし、命を落とすかもしれないし、やった方は責任をもてないから、いじめはダメだと思いました。それにまだ、その人はしたいことがたくさんあるかもしれないから、それができなくなるかもしれないから、悪口やいじめは、だれが何といっても、やってはいけないと思いました。それに、人が失敗してしまったときも簡単に笑って、自分はおもしろいかもしれないけれど、笑われている人はとても傷ついているから、やってはいけないと思います。

◆3年生の作文より

私は「プレゼント」のお話を勉強して、自分がされたらいやなのに、人にやるのはだめだと思いました。ひとをいじている方は楽しいかもしれないけれど、やられた方はいやだから、やめた方がいいと思いました。結局、何もしてなくても、みているだけでいじめになっているので、やめた方がいいと思いました。私は、誰にもいじめをしないように気をつけます。

◆4年生の作文より

私は福祉体験を通して、みんなが幸せに生きられるために、じぶんにできると感じたことは、三つあります。一つ目は、友だちや家族、高齢者の人たち、目が不自由な人たち、耳が不自由な人たちなど、周りの人が困っていたら、やさしく教えてあげたいと思いました。理由は、みんなが幸せに生きられるために、みんなが親切な世界をつくっていきたく思ったからです。二つ目は、目が不自由な人たちには、私には、わからない苦勞がたくさんあると思います。でも、点字の数が増えたら、大きな助けになると思います。だから私は、もっともっと勉強して、今ある施設などの点字の数を増やして、よりよい環境にしていきたいと思いました。三つ目は、耳が不自由な人は手話で話ができるけれど、まだ、みんなが手話で話せないから、手話で話せる人が増えるように、私は手話をもっと練習しようと思いました。この、私が思っている三つのことは、みんなが幸せに生きられるようにするために、私ももっと頑張りたいです。

1月・2月の行事予定

1月19日(水)	食育の日
20日(木)	3年浅井資料館見学
21日(金)	5年スマホ・人権教室
2月1日(木)	5年フラッグフットボール
10日(木)	入学説明会
18日(金)	食育の日

★委員会活動・・・1/14 1/31 2/28

★クラブ活動・・・1/17 1/24 2/14

※2月2日の学習参観ですが、コロナ感染症の現状を鑑み、実施を控えさせていただくことにしました。申し訳ありません。ご理解の程よろしくお願いたします。



◆5年生の作文より

★「知らないあいだのできごと」という話を読んで、今まで自分ではあまり悪口を言ったりしてはいなかったけど、人のうわさ話をしている時がありました。でもこの勉強をして、うわさをしたら、うわさされている人の心は傷ついて、暗い気持ちになってしまうということがわかりました。悪口も、言葉の意味を知らずに使ってみたり、悪い言葉とわかっているのに言ってしまったりすると、悪口を言われた人の心は傷ついて、言われたことがずっと心に残ってしまうからよくないということがわかりました。だからこれからは、どんな時でもうわさ話や悪口をいわないと自分の心に決めて、毎日友だちと楽しく過ごしたいです。

★ぼくがこの勉強で考えたことは、少しの理由で友だちを仲間はずれにしてはいけないということです。例えば、携帯をもっていないというだけで仲間はずれにしたり遠ざけたりするなど、その人がどんなにつらいだろうと考えたら、胸が痛くなってくるなどと思います。メールのやり取りやうわさで人を仲間はずれにして、悲しい気持ちにさせるなど、絶対ダメだと思いました。そして、もしあやまってしてしまっても、そのまましておかず、話し合って信頼を取り戻したいです。このお話で、大切だと思ったことは、どんな人とも信頼し合うということです。たとえ、みんながその人をどう言っても、その人と仲良くしてその人の心の悲しい気持ちを少しずつといていって、最後にはみんなで信頼し合い、みんながつながり合える、みんながやさしい、うれしい気持ちになれるようにしたいです。

◆6年生の放送より

6年生は道徳で学習した後に「みんなが笑顔で生活するためにどうしたらいいのか」をみんなで考えました。グループで考えた後、みんな意見を出し合い、人権宣言としてまとめました。

★6年い組人権宣言

- 第1条 いじめはしないという強い意志を持つ
- 第2条 つらいときには助けを求める勇気を持つ
- 第3条 1人1人の違いを認め合おう
- 第4条 見て見ぬふりをせず助け合おう
- 第5条 仲間を信頼しよう
- 第6条 相手の気持ちを考えよう
- 第7条 自分がされて嫌なことは人にしないでおこう



★6年ろ組人権宣言

- 第1条 みんなといっぱい話そう
- 第2条 相手のことを考えて行動しよう
- 第3条 困っている子がいたら、声をかけよう
- 第4条 自分がされていやなことは相手にもしないようにしよう
- 第5条 相手が傷つくことをいわないようにしよう
- 第6条 みんなの個性を尊重しよう
- 第7条 友だちのいいところをたくさん見つけよう
- 第8条 「ありがとう」の気持ちをしっかりと伝えよう